

災害対策エグゼクティブ プログラム Disaster Solution Executive Program

気候変動も踏まえたVUCA時代におけるRiskやResilience分野の専門講座。
今後どのような世界が訪れ、どのように先を見据えた戦略を考えていくのか。
利害や損得ではなく、物事の本質を見極める。

お申し込み



今後どのような世界が訪れ、
どのように先を見据えた戦略を考えていくのか。

令和時代 2019年 - ●→

平成時代 1989年 - 2019年 ●→

昭和時代 1926年 - 1989年 ●→

大正時代 1912年 - 1926年 ●→

明治時代 1868年 - 1912年 ●→

江戸時代 1603年 - 1868年 ●→

安土桃山時代 1573年 - 1603年 ●→

室町時代 1336年 - 1573年 ●→

建武の新政 1333年 - 1336年 ●→

鎌倉時代 1185年 - 1333年 ●→

平安時代 794年 - 1185年 ●→

奈良時代 710年 - 794年 ●→

飛鳥時代 592年 - 710年 ●→

古墳時代 3世紀中頃 - 7世紀頃 ●→

弥生時代 前10世紀 - 後3世紀中頃

縄文時代 前14000年頃 - 前10世紀

旧石器時代 - 紀元前14000年頃

- **対象者**：トップマネジメントに関わる方やリーダーなど社会人。
- **学習内容**：RiskやResilienceに関わる体系的な知識・技能を習得する。最先端の研究を踏まえた講義と、その学習を踏まえて各受講者が独自に研究テーマを設定、研究し、発表。
- **学習時間**：60時間
- **研究支援体制**：随時、研究相談はオンライン等で進捗を支援。
- **研究成果の発表先**：RiskやResilienceに関する各種学会での発表。例えば、土木学会、建築学会、日本災害情報学会、地域安全学会など多数の学会の中から、最低一つ。
- **受講形態**：オンライン講義 + 対面による研究議論や発表会
※海外在住者等を考慮し、完全オンラインで修了も可能。
※オンデマンドで受講も可能（講義を録画）
- **講義及び演習場所**：東京大学大学院情報学環等の講義室
- **開講時期**：毎年4月から翌年年2月
- **開講スケジュール**：平日の夜、土日など。
- **定員**：18名（最低開講人数10名）
- **履修証明書**：修了者には、履修証明書を発行する。
- **受講料**：紹介あり 88万円（税込み）
紹介無し 110万円（税込み）
- **申し込み先**：東京大学生産技術研究所沼田研究室

※履修証明プログラムの申請者の審査、受入の決定は、履修証明プログラム運営委員会にて審査します。

学習分野

0. 災害対策 原論

1. ガバナンス・ 組織運営

2. 災害情報

3. 救助・ 災害医 療支援

4. 避難・ 被災者 支援

5. 地域 再建 支援

6. 社会 基盤 システム 再建

7. 社会 経済 活動回 復

FAQ

- **履修証明プログラムとは何ですか？**
東京大学では、社会人向け教育及び大学の社会貢献の一環として、履修証明プログラムを開設しています。履修証明プログラムとは、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、大学のより積極的な社会貢献を促進するため、主に社会人を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書（Certificate）を交付するものです。なお、学位が授与されるものではありません。
- **履歴書に修了したことを記載できますか？**
履修証明プログラムを修了すると「履修証明書」が発行され、その後のキャリアアップ、転職活動や再就職活動などに使用する履歴書に記載が可能です。